

開催月日 : 平成 30年 3月 14日

平成29年度第4回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am/pm 17:15 ~ am/pm 18:15	場所	千代田区役所4階 401会議室
司会	●●●●	書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●●●様、●●●●様		
	○千代田区社会福祉協議会：●●●●●様		
	○千代田区高齢者あんしんセンター：友田充洋様(神田地区)、●●●●●様(麴町地区)		
	○千代田区かがやきプラザ：常川知美様		
	○医療機関：●●●●様(在宅療養支援診療所) ●●●●●様(九段坂病院) ●●●●●様(三楽病院)		
	●●●●●様(杏雲堂病院) ●●●●●様(九段訪問看護ステーション・連携)		
	●●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携)		
	○知見を有する者：●●●●●様、●●●●●様、●●●●●様、●●●●●様、●●●●●様、上宇都紗香様		
	○地域住民の代表者：●●●●●様、●●●●●様		
	○指定事業者		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：峯俊美、浅見達也、尾崎正紀		
	グッドライフケア24：●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●、●●●●●		
	会議内容	① 開会の挨拶	
グッドライフケア24：●●●●●			
② 取り組み事例発表			
かんだ連雀いつでもサポートサービス：浅見達也			
グッドライフケア24：●●●●●			
③ ご出席者皆様よりご意見・講評			
④ 閉会の挨拶			
かんだ連雀：峯俊美			
詳細	② 取り組み事例発表		
	●看護と連携した取り組み(かんだ連雀いつでもサポートサービス)		
	訪問看護・定期巡回を導入後の、利用者状況と効果を発表		
	●利用状況報告(グッドライフケア24)		
	今年度の取り組み報告 状態悪化をした独居利用者の在宅生活を支える事例 その後		

<p>① 開会の挨拶</p> <p>グッドライフケア24：●●●●</p> <p>○定期巡回を開始して5年目となりましたが、利用件数は伸びていない。今後も地域に根差した介護サービスの最後の砦となるよう、ますます質を高めていきたい。</p>
<p>② 取り組み事例発表</p> <p>かんだ連雀いつでもサポートサービス：浅見達也</p> <p>○看護と連携した取り組み</p> <p>服薬忘れを防止するため、服薬カレンダーからボックス管理に変更し、ヘルパーが援助ごとに取り出し利用者に手渡しすることで安心感を与えるなど、利用者ごとに見合った方法で取り組んでいる。</p> <p>看護と連携したことで飲み忘れ回数や、内服薬のセット、屯用薬の管理が一元化されたこと、今まで通院してした皮下注射も自宅で実施できるようになり、家族の介護負担が軽減されたことなど、効果と現在の状況を発表。</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 前回第3回の会議で発表した、充実した余暇を過ごしていただくための取り組みは現在でも継続しています。日中ぬりえをして過ごすようになった利用者は、ケアマネジャーとも相談し「自主的にぬりえに取り組む」ことをケアプランに位置付けて、生活リズムの構築に一役買うことができました。来年度以降の連携推進会議について。アンケート等皆様の要望の中から、会議形式のグループ・ディスカッションや、利用者本人に参加いただいて生の声を聴いてみるといった新しい試みを検討しています。</p> <p>グッドライフケア24：●●●●</p> <p>○今年度の取り組み報告 グラフを元に介護度別の利用者割合、看護の利用割合、コール件数と随時訪問の出動内容等を報告。</p> <p>○状態悪化した独居利用者の在宅生活を支える事例 その後</p> <p>転倒、緊急ショート利用を繰り返していた利用者に対し、ご本人の情報収集を再度徹底して実施し訪問時間・回数、拒否のある場合の声掛けを工夫するなど課題を解消していき、看護師、往診医との連携を強化するなどの取り組みを発表。</p> <p>(→グッドライフケア24 ●●)</p> <p>○ケアマネジャーやご家族から、援助に対して一日に何回入れますか、との問い合わせが多い。アセスメントの結果が重要で、アセスメントから判断し、適切な回数を見極め援助に入っています。いつでもご相談いただければ、回数の増減など変更も可能であることを案内しています。</p>
<p>③ ご出席者皆様よりご意見・講評</p> <p>●常川知美様：千代田区かがやきプラザ</p> <p>○パーキンソンの方の服薬について。服薬に拒否があったとのことですが、飲み方によって薬の効果の出る時間が決まっている。効果が切れてしまうと全く動けなくなり危険。</p> <p>(→グッドライフケア24 ●●) 一日3回の服薬時間に関しては、ケアマネジャーと相談し、あらかじめ時間を設定している。</p>

<p>●上宇都紗香様：知見を有する者</p> <p>○回数の増減など変更も可能とのことですが、1回でどれぐらいの援助時間入っているのか、また最大入った時はどれぐらいだったか？</p> <p>(→グッドライフケア24 ●●) 今回の事例の方では、当初一日30分の援助を3回入っていました。退所時はいつもより手厚く設定して、一日15分～30分を6回に増回したこともあります。</p>
<p>●●●●●様：地域住民代表</p> <p>○ふれあいサロンをやっています。介護保険を利用していない90代の方もされています。元気な方が参加されていますので、定期巡回サービス利用者もそういった地域活動に参加できないか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 定期巡回サービスの利用者の方も参加されていたことはあります。徘徊の見守りや送迎の有無など、さまざまなサポートが必要とされることがある。参加前に地域活動の主催者側に確認を取らなければならない。</p>
<p>●●●●●様：医療</p> <p>○一日3回の服薬とあったが、薬の飲ませの工夫をできないか。朝1回に集約できるか相談してみてもどうか。</p>
<p>●●●●●様：社協</p> <p>○ベッドから起きて来れず救急搬送された方がいました。定期巡回のサービスを利用し始め、本人が喜んでいる場面に接したことがあります。サービス提供を受けたことで、半年以上在宅生活が延長されたのではないかと思います。</p>
<p>●●●●●様：医療</p> <p>○資料の様式に統一がない。定期巡回の利用者数が増えていない。病院関連でも定期巡回につなげるケースが伸び悩んでいる。普及・啓発の場が少ないのが課題ではないか。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○ケアマネ意見交換会に現在、50名が参加しているが、定期巡回について理解が十分なされているという印象は持っていない。定期巡回を導入するかどうかはケアマネが握っているのので、理解を深めていくことが重要。居宅サービス計画書の第3表、週間サービス計画表を作成すれば定期巡回がどんなふうにサービス提供されるかは一目瞭然になる。</p>
<p>●●●●●様：千代田区高齢介護課</p> <p>○来年度の介護保険改定について。連携推進会議は4回開催から2回に変更されます。平成30年度からは個別開催がいいか、合同開催がいいかは協議していく所存。内容についても事例発表にするか専門的な内容がいいのかは見直していく。地域密着型サービスであるからには、広く一般の方に馴染みやすい内容にしていきたい。</p>
<p>④ 閉会の挨拶</p> <p>かんだ連雀：峯俊美</p> <p>○来年度は介護保険が改定され、より在宅支援の構築を強固なものにしなければならない。今後は地域在宅ケア、ボランティアとともに、啓発活動を行っていく必要があります。千代田区にお住まいの方々が自分らしく生活できるよう、お手伝いできればと考えております。</p>
<p style="text-align: right;">以上</p>